

11月1日（火）茨城県立県民文化センターにおいて、第17回「いばらき教育の日」推進大会が開催されました。本校からは、佐藤PTA会長、小幡校長、瀧澤渉外部長が出席しました。

午前中は、開会行事、大会宣言、表彰、活動発表などがありました。

午後は、2009年ヴァン・クライバーン国際コンクールで日本人初の優勝を果たした辻井伸行氏の母、辻井いつ子さんの記念講演がありました。

全盲の伸幸氏の才能を信じ、さまざまな困難を経て二人三脚で歩まれたいつ子さん。「子どもの才能の見つけ方、伸ばし方」という演題で、子育てについて多くの示唆を与えてくださいました。

キーワードをいくつか紹介します。

「明るく、楽しく、あきらめない」 「ポジティブさ」
「花は目で見るだけではない」 「何か一つ自分の好きなことを見つける」
「子どもは無条件で親にほめてもらいたい」
「否定的なことばを最初に使うのはよくない」 「だめでもともと」
「人間の持っている可能性を、まず、親が信じること」
「何か始めるのに遅いということはない」

